

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] C型肝硬変に対する direct-acting antivirals 投与前後の CXCL9 変動解析ならびに予後に関する検討

[研究責任者] 臨床研究センター肝臓内科 末廣智之

[研究の背景]

Chemokine (C-X-C motif) ligand 9 (CXCL9)は免疫細胞 (T リンパ球、NK 細胞、樹状細胞、マクロファージ、好酸球等)、および非免疫細胞 (肝星細胞、前脂肪細胞、甲状腺細胞、内皮細胞、腫瘍細胞、線維芽細胞等) から分泌されるケモカインの一種です。感染や炎症が生じた箇所への白血球誘導に関わり、また T 細胞のリクルートと活性化のメディエーターとしての作用も知られています。肝硬変患者さんの血清中 CXCL9 は肝予備能や腎機能と関連しているとの報告もありますが、肝疾患との関連は未だ解明されていない点が多くあります。

Direct acting antivirals (DAAs) の登場により、現在はほとんどの症例で HCV 駆除が可能となっています。肝硬変患者さんにおいても例外ではなく、HCV 駆除により肝予備能の改善が認められます。しかしながら、CXCL9 の DAA 治療後の変化については報告がありません。今回 DAA 治療による HCV 駆除前後で CXCL9 の変化を解析し、CXCL9 が肝癌の発癌予測因子ならびに予後因子になり得るかどうかを検討致します。

[研究の目的]

本研究では C 型肝硬変患者さんの DAA 治療前後で CXCL9 を測定し、臨床パラメータとの関連を後ろ向きに解析します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

C 型肝硬変の患者さんで、西暦 2015 年 10 月から 2023 年 3 月までに DAA 治療を導入された方

●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2028 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血清 (診療または他の研究で使用した検体で保管することに以前同意をいただいたもの)

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果 (血液検査、画像検査)

#### 検体や情報の管理

血清は院内で測定されます。

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれます。研究用の番号を付け番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

#### [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

臨床研究センター 肝臓内科 末廣 智之

電話番号：0957-52-3121（代表）